

今週（1月16日から1月20日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、16、19、20日が短国や国債発行等に伴う不足日となったものの、無担保コールO/Nに特段の影響は無く、落ち着いた展開が続いた。

積みの序盤ということもあり、取り急ぐ様な動きは見られなかった。ビッドサイドが▲0.07～▲0.035%と先週より低下したため、無担保コールO/N加重平均レートは▲0.04%台後半での推移となった。ターム物に関しては証券業態のロール案件が中心となった。

固定金利方式の共通担保オペは、19日に2W・8,000億円でオファーされ、落札額は1,571億円（期落ち額1,650億円）と札割れとなった。

●レポ市場

今週のレポ市場は、週初16日のGC S/Nは、先週に続いて投資家の資金調達ニーズに乏しく、▲0.14～▲0.13%程度の出合い。17日のS/Nは▲0.13%前後の出合い。短国1Y物の発行日の取引となる18日のS/Nは、引続き投資家の資金調達ニーズが低調であったものの、業者の在庫ファイナンスと思われるオファーが入り、▲0.10%前後までレートが上昇した。短国3M物と利付5Y物の発行日の取引となる19日のS/Nは、▲0.09%前後まで上昇。短国買入オペがオファーされた20日のS/Nは▲0.095%前後まで低下した。

SCは個別銘柄では5y126～130、10y330・333・340～344、30y48～52、40y9等のカレント近辺にビッドが多く見られた。23日にリオープンとなる5y130は発行日まで非常に出難くなっていたが、リオープン後は普通銘柄となった。

●短国市場

今週の短国市場は、先週に実施された3M物入札のレートが上昇したこともあり、全体的に様子見姿勢が続いた。

新発の入札は、18日に1Y物、19日に3M物の2本が実施された。18日の1Y物は、WI取引で▲0.34%の出合いが見られる中、入札結果は平均落札利回▲0.335%、按分落札利回▲0.3261%と概ね事前予想通りの結果となった。19日の3M物については、WI取引で▲0.29～▲0.285%で出合いが見られる中、入札結果は平均落札利回▲0.2861%、按分落札利回▲0.2805%と順調な結果となった。セカンダリー市場では、新発3M物は店頭ニーズから▲0.295～▲0.285%と堅調に推移した。1Y物は短国買入オペを睨んだ展開となり、一時▲0.45%まで買い進められる場面も見られた。

短国買入オペは20日に1兆5,000億円でオファーされた。引け値の低い1Y物中心に応札されたと見られ、平均落札利回較差+0.016%、按分落札利回較差+0.013%の結果となった。

●CP市場

今週のCP市場は、1月の後半に入ったことで幅広い事業法人から発行が実施されたものの、全体的に目立った変化は見られず、落ち着いた展開が続いた。入札ベースでは、週間の償還総額2,900億円程度に対し、発行総額6,200億円程度の発行超のマーケットとなったが、市場全体の発行残高は1月初頭から15兆円付近で推移しており、特段の変動は無かった。発行レートについては、オペ見合いでの玉確保ニーズが減退している一方で、0%以上の運用ニーズは依然底堅く、大半のa-1格相当銘柄で0%付近での決着となった。

17日にはCP等買入オペが2,500億円でオファーされた。結果は平均落札レート0.000%、按分落札レート▲0.001%となり、按分落札レートは前回の0%から僅かに低下した。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
1/16 (月)	19,095.24	0.050	114.35	△ 0.047	△ 0.111	3,279,300
1/17 (火)	18,813.53	0.045	114.12	△ 0.048	△ 0.105	3,298,800
1/18 (水)	18,894.37	0.050	113.05	△ 0.047	△ 0.099	3,309,300
1/19 (木)	19,072.25	0.070	114.80	△ 0.047	△ 0.097	3,298,500
1/20 (金)	19,137.91	0.060	114.70	△ 0.046	△ 0.092	3,286,000

来週（1月23日から1月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
1/23 (月)	11月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00) 月例経済報告 (内閣府)				
1/24 (火)		40Y 5,000億円 1/26発行			12月の米中古住宅販売
1/25 (水)	12月の貿易統計(財務省 8:50)	交付税借入 10,500億円 2/3借入			
1/26 (木)	12月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	TB3M 44,000億円 1/30発行	流動性供給 5,000億円 1/30発行		12月の米新築一戸建て販売件数 10-12月期の英GDP速報値
1/27 (金)	1月都区部・12月全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)				10-12月期の米GDP速報値 12月の米耐久財新規受注

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給予因
1/23 (月)	900	▲ 21,100	▲ 20,200	全店共通 CP買入 ETF買入 国債補完	▲ 1,700 ▲ 200 700 5,700	1,600	6,100	▲ 14,100	TB3M発行▲44000償還43400 5Y発行▲24000 交付税借入▲10500期日10500
1/24 (火)	1,000	1,000	2,000	国債買入 短国買入		11,200 15,000	26,200	28,200	
1/25 (水)	0	2,000	2,000				0	2,000	
1/26 (木)	▲ 1,000	▲ 5,000	▲ 6,000	社債買入		1,000	1,000	▲ 5,000	40Y発行▲5000
1/27 (金)	▲ 1,000	▲ 2,000	▲ 3,000				0	▲ 3,000	交付税借入▲10500期日10500
週間合計	▲ 100	▲ 25,100	▲ 25,200	—	3,800	29,500	33,300	8,100	

1/23は日銀予想、1/24以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、23日に短国・国債の発行で大幅な不足日となる。無担保コールO/N加重平均レートは引き続き横ばいでの推移が見込まれるが、試し取りが見られやすい時期ということもあり、レートが若干上昇する可能性もある。短国市場は、イベントが少なく、週前半は閑散なマーケットが予想される。26日に3M物の入札が予定されており、レートの低下傾向が一服する中、結果が注目される。短国買入オペは27日に実施されると見込まれる。CP市場は月末発行にかかる週となり、発行案件の増加が見込まれる。また、26日にCP等買入オペが3,000億円オファーされる予定となっている。

主要なイベントとしては、海外では26日の10-12月期の英GDP速報値、27日の10-12月期の米GDP速報値、国内では27日の12月の全国CPIなどが挙げられる。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入